

平成24年
2月20日発行

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。



敷地の西側に見る保護樹林(綱坂側)

港区保護樹林に指定されている
綱町三井倶楽部

三田のまちに 豊かな緑を残す…

スタジイ、シラカシ、アカマツ、イチヨウ、サクラなど、豊かな樹木に囲まれた綱町三井倶楽部。敷地内に広がる樹林は約30,000m²にもわたり、昭和49年(1974)に港区の保護樹林に指定され、芝地区の緑化に貢献しています。樹木は季節ごとに職人が剪定し、日頃の手入れは施設内の社員が行いながら、この広大な樹林を維持・管理しているそうです。

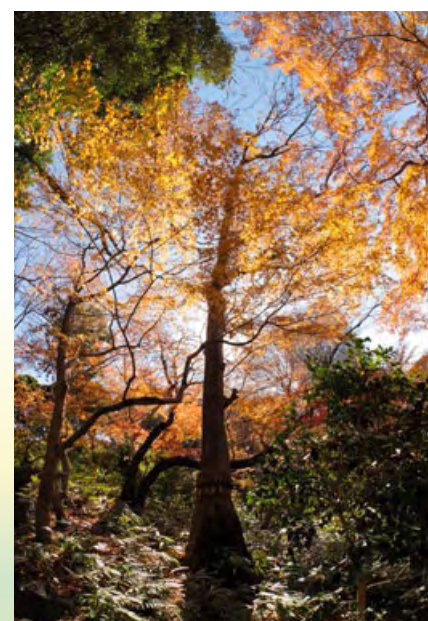
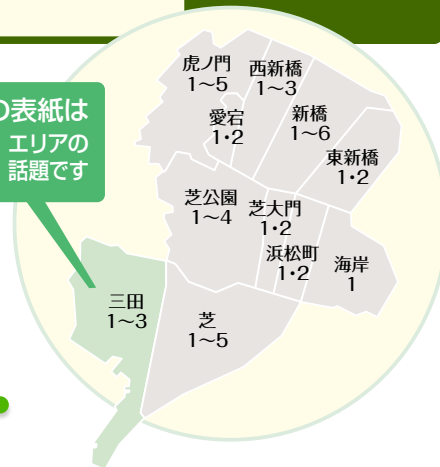
大正2年(1913)に建てられた本館には、木々の緑や紅葉が映え、正門前の通りからもその景観を季節ごとに楽しむことができます。正門の横にある大イチヨウも見事なたずまいを見せています。

この辺りは、都会の喧騒を忘れさせる静かな町並みが広がっていて、閑静な散歩道として、地域の人々にも親しまれています。皆さんも木々を見て季節を感じながら、のんびりと散歩してみませんか。



敷地の東側の坂からは柵越しに
庭園内をかいま見ることができる

第22号の表紙は
三田
エリアの
話題です



許可を得て庭園内の色づいた樹木を撮影
(撮影日:2011年12月26日)



網町三井倶楽部
三田2-3-7
※一般公開はされていません。

東京タワーを 撮り続けた 亡き父

三田2丁目写真店を営んでいる田島みどりさんから、昭和54年(1979)62歳で亡くなられたお父様の松永寿郎さんのお話をお聞きました。

写真店をこの地で開業

学生の頃からカメラが趣味だった父は戦時中も戦地で写真を撮っていたようですが、戦後ジャワから帰国すると、写真工房に入り本格的に腕を磨きました。その技術を活かし、昭和23年(1948)結婚と同時に現在地に写真店を開業しました。様々な外国製のカメラを使ってきましたが、「やはり、日本製のカメラが一番!」ということで、日本製カメラにこだわりました。写真屋ですから、「現像・焼き付け、引き伸ばし」が本業ですが、カメラの販売もしていたため、お客様にはカメラの使用方法を親切・丁寧に教えていました。本業より、そのほうが好きだったようです。

突然、町が変わる

赤羽橋から飯倉・芝公園辺りは、父の子どもの頃の遊び場だったようです。昭和32年(1957)頃、その飯倉から芝公園で工事が始まり、なにやら鉄骨がたくさん運ばれてきました。塔ができるらしい、とのこと。ちょうど自分の店から建設中の様子が見えるため、「これを撮り続けよう」と決め、撮影を始めました。工事は順調に進み、上空を突きぬける「タワー」

らしい建築物ができてきました。東京タワーです。写真①は、高台にある「春日神社」の境内から撮影した建設中の東京タワーです(昭和33年秋頃)。三田国際ビルもない頃で、屋根越しに東京タワーがくっきり見えます。

建設中の東京タワーに上り撮影

店の近くに東京タワー建設に携わる人たちの宿舎がありました。父は、塗装職人と仲良くなり「建設中の東京タワーに上って、皆さんの写真を撮りたいのですが」と頼みました。返事はOK(現在では考えられませんが)。完成直前の昭和33年(1958)12月3日、確か現在の特別展望台(地上250m)近くに上り、そこで働く人々を撮影しました。その時は、無我夢中で怖さを感じなかったようですが、帰宅した父の足がガタガタと震えていたのを覚えています。

当時20歳だった新潟出身の職人さんが、父が差し上げた記念写真を携えて、40数年ぶりに店を訪ねて来た時には驚きました。その職人さんは、「この1枚の写真は私の宝物です。世界一の塔を塗装したことは自分の誇りです」と嬉しそうに話していました。

写真は、歴史の証人です

写真②は、前述の昭和33年12月3日、地上250m付近から東側を撮った写真です。かつての国鉄「汐留駅」が見えます。ほぼ中央に赤レンガ建の日本赤十字社本社、右下隅の港区役所の旧庁舎等々、懐かしい写真です。家並みもわかります。

古い写真を見てみると、当時の人々の暮らしが見えてきます。建物の一つひとつが語りかけてきます。みんなで写真を見ながら、「ワイワイガヤガヤ」と楽しむのもいいでしょう。1枚の写真が、心を和ませてくれます。 [文■清田 和美]



写真①



写真②

写真撮影:松永寿郎(提供:フォトサービス・マツナガ)



フォトサービス・マツナガ
三田2-7-9 サニー Crest 三田1F
TEL 03-3451-2575

ボツワナ共和国大使館

訪問記

アフリカ大陸の国々は、第2次世界大戦後次々に独立を果たしたこともあり、名前と場所が必ずしも一致しないという方も多いのではないのでしょうか？

芝4丁目にあるボツワナ共和国大使館で、ボツワナはどんな国なのか、プレ・ンボツエ 公使にお話を伺いました。



プレ・ンボツエ 公使

ボツワナの国旗について

水色は水を表しており、砂漠の面積が多いボツワナでは水は日本で想像する以上に貴重(水はツワナ語で「恵み」の意味もある)。黒と白のストライプは多文化国家なので、人種の共存を表しているとのこと。

歴史をざっと振り返ると

- 1885年、オランダからアフリカに移住したボア人と呼ばれる人や、ドイツなどの侵略の脅威からイギリス政府に保護を求め、「ベチュワナランド保護領」となる
- 1966年9月30日、イギリスから平和的に独立。ボツワナ共和国誕生
- 1967年、ダイヤモンドが発見される

政治の背景

ボツワナには「コトラ」という、地域社会において意見の一致を図る伝統的な廷議会有り、これが民主政治の基礎になっているそうです。

複数政党制で18歳以上の男女に普通選挙権があり、1965年以来5年ごとに国政選挙が行われています。現在の第4代大統領イアン・カーマ氏は、2010年秋に日本を訪問しています。

国造りは「話し合い」が原則

コトラにおいて実践されてきた「話し合い」の精神により、ダイヤモンドが発見されたときも、どこで産出されたかに関わらず、国民全体の財産であるという総意がなされました。これが現在のボツワナの平和の基盤になっているというプレ氏の説明に自負を感じました。

初代大統領セレツエ・カーマ卿はダイヤモンドの収益を「社会基盤整備」と「人材育成」に力を入れると決め、それを実行しました。ボツワナでは教育は無料で、医療費も助成されています。

注：現在ダイヤの取引額において世界一のダイヤモンド生産国。世界の宝飾ダイヤの3分の1はボツワナ産(データ提供:ボツワナ共和国大使館)

オカバンゴ湿地帯やチョベ国立公園など観光の魅力もいっぱい

オカバンゴ湿地帯は世界最大の内陸デルタです。チョベ国立公園は野生の象の生息数が世界一で、ビッグファイブ(ライオン・ヒョウ・サイ・バッファロー・ゾウ)など野生動物の楽園として観光客に人気があります。動物が自由に生きる姿を間近で見ることが出来ます。動物たちが子どもを愛情深く育てている様子は感動的です。



チョベ国立公園の象の群れ(大使館提供)

アフリカの優等生

過去10年にわたり、国際的な格付け会社ムー

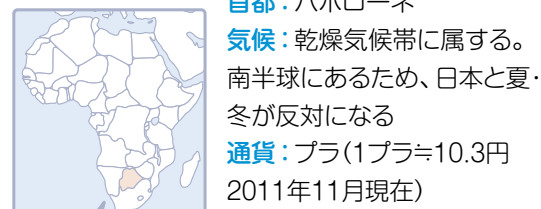
ディーズとスタンダード&プアーズは、ボツワナの投資信用格付けをAランクとしていました。ボツワナの政治的安定と堅実な経済運営が評価された結果で、現在はA2に格付けされています。

ボツワナの外貨準備高は、2011年9月時点で83億米ドル。1人当たりのGDPは6,900米ドルに上り、サハラ以南のアフリカ諸国の中で最高水準です。こうした良好な経済指標から、ボツワナは中所得国に位置付けられています。

優等生と言われる国造りを進めているにも関わらず、日本でのボツワナ共和国の認知度は残念ながらあまり高くありません。この状況をプラエンテ・ケノシ ボツワナ大使は「sleeping baby=すやすや眠っている赤ちゃん」と表現しました。1966年に独立して以来、世界でニュースになるような紛争や飢饉もなく、まだ非常に若い国というイメージがよく伝わってきます。これからますます成長されることを楽しみにしています。

基本的な情報

アフリカ大陸南部の内陸に位置する。
国土：58万2,000平方キロメートル(日本の1.5倍)
人口：200万人(2011年調べ)
言語：英語(公用語)、ツワナ語(国語)
民族：ツワナのほか、カラング、バサルワ、ヘロ族など



首都：ハボローネ
気候：乾燥気候帯に属する。南半球にあるため、日本と夏・冬が反対になる
通貨：ブラ(1ブラ≒10.3円 2011年11月現在)



(文・写真 ■ 伊藤 泰子)

ボツワナ共和国大使館
芝4-5-10 カーニー・プレイス芝6F
TEL 03-5440-5676

～被災地の子どもたちを招待したハンガリー～

日本との「絆」プロジェクトをレポート

東日本大震災の被害の状況を伝える映像が世界に流れ、各国の人々から温かい支援の手が差し伸べられました。そのひとつ、ハンガリーのプロジェクトが若者の心に希望と励ましを種をまいたという話題を紹介いたします。(これは昨年12月5日、三田2丁目にある同大使館で行われた記者会見の取材レポートです)

きっかけは

平成22年(2010)「日本・ハンガリー友好親善さくらの記念植樹式典」が福島県猪苗代町と岩手県陸前高田市・大船渡市で開催され、地元の人たちも参加しました。それが縁となり、震災後、この時間関係したハンガリーの自治体から「被災した子どもたちを2週間ハンガリーに招待したい」という知らせが届きました。これに岩手県と福島県の中・高生18名が応募し、7月下旬に日本を出発しました。

当時の東北の状況を考えて、このプロジェクトが実現したことはハンガリーの方々のご尽力のおかげで、実際ハンガリーからの申し出はヨーロッパ諸国でも一番の早さでした。

子どもたちの貴重な体験

ハンガリーでは多くのボランティアに支えられて観光し、人々の温かさにふれ、大統領や首相への表敬訪問も果たしました。

子どもたちの会見スピーチでは「ハンガリーの

文化や暮らしに新鮮なカルチャーショックを受けた」ことが語られ、あるおばあさんから「3・11のニュースを見て、日本のために祈りました」と言われたことにも感動したそうです。

「次にチャンスがあって会うときは、ハンガリーのお友達においしいおにぎりを食べてもらえるように、いま練習している」というほほえましい話や、ハンガリーの人々が飛行機が飛び立つまで見送つ



大使館に集まった子どもたちの集合写真(記者会見場にて)

ハンガリー新大使の着任ランチパーティ



昨年10月24日、新しくハンガリー駐日大使となったセルダハイ・イシュトヴァーン大使の着任パーティが開かれました。このパーティは10月23日がハンガリー革命(1956年)の記念日であることにちなんで開催されたパーティでもあります。

新大使は元ブダペスト大学の日本学教授で神戸大学に留学経験があり、大使夫人は日本人です。長身でハンサムな新大使は、日本語が堪能なうえに気さくな印象で、2階の会場前で出席者をにこやかに出迎えてくれました。

ハンガリー大使館が今までに築いてきた交友の広さを感じたのは、パーティに集まった方たちのバラエティの豊かさでした。経団連会長の米倉弘昌氏をはじめ、政治・経済関係者だけでなく、英字新聞社、オー

ストリア・ハンガリー帝国の外交官ハインリヒ・クーデンホーフ・カレルギー伯爵と結婚した青山ミツコさんの孫にあたる画家のミハイル・クーデンホーフ・カレルギーご夫妻も来場されていました。またハンガリー刺繍の先生、お人形作りのグループの女性たちも参加され、国家間レベルの関係だけでなく、草の根の交流も大切にされていることがうかがえました。

大使館の料理長モルドヴァーン・ヴィクトル氏が腕をふるったハンガリー料理は見た目も美しく、色々な種類を数多く食べられるように工夫されたものでした。なんと食べ慣れた味がして、日本人の舌に合うという声も聞かれました。

料理を味わうにつれて、人々の緊張感もほぐれ、あちこちで談笑する人の輪が



当日いただいたハンガリー料理の1つ(バプリカの肉詰め)

見られました。このパーティでは大使とお会いするだけでなく、出席者同士の交流もありました。人との出会いと交流の大切さを思った1日でした。

(文・写真 ■ 伊藤 泰子)

芝の食文化

香り深い風味と歯ごたえが心地よい副菜

日本各地で栽培され、1年中食べられるだいこんは、多くの人から好まれている、家庭の食卓には欠かせない食材です。

東京だいこんといえば、かつては春・夏に収穫された亀戸大根、三河島大根、汐入り大根(南千住)、そして何といても味が一番といわれた

だいこん漬

冬の練馬大根が代表格です。

5代将軍徳川綱吉が尾張から宮重大根の種子を取り寄せ、武州豊島郡の農民たちに作らせたのが始まりで、昭和まで受け継がれた東京の名産です。軒下や庭先に並べて干している光景は冬の風物詩であったのが懐かしく思います。俳句でも冬の季語に詠まれます。

天明年間(1781~89)には多くの品種が生まれて、『大根一式料理秘



(上から順に)東京名産に選ばれている福神漬、江台前皮付べたら漬、東京沢庵(沢庵漬)

箱』や『大根料理秘伝抄』などだいこんの料理本が発行され、江戸の町民に好まれていたことがうかがえます。新橋4丁目の赤レンガ通りに漬物専門店「十一屋総本店」があります。

飲食店が多く立ち並ぶ新橋という土地柄、近隣にお得意様が多いようです。その十一屋総本店の営業係長・大野亮店長にだいこん漬けの話をお聞きしました。だいこんを使った

漬物だけでも10数種類揃えてありますが、冬はべったら漬けが主力商品となっているそうです。皮付きと皮なしの2種があり、コリコリとした歯ごたえに、麴の香りと自然な甘さが上品な味わいになっています。

東海寺(品川)の開祖、沢庵和尚が考案したので沢庵漬けと呼ばれたといわれていますが、ある日3代将軍徳川家光がこの寺で出された貯え漬けがことのほか気に入って、「沢庵漬けとしたらよい」との一声で決まったというのが有力な説です。当時は白米が江戸の町民に浸透し、精米して出た糠を漬物に利用した知恵に驚かされます。

十一屋総本店の沢庵漬けは「東京沢庵」と呼び、練馬大根を小麦の糠であるふすまに漬けてウコンで染めています。やさしいみかん色にほ

んのりとした甘さが感じられます。

漬物は保存食ですが汁に漬けたまま冷蔵庫で保存すれば美味しさがキープできます」と大野店長のアドバイス。また「いろいろな野菜を塩で浅漬けにし、サラダ感覚で食べていただきたいですね。生野菜より栄養と風味があり、体にもとてもいいです」とも言われました。

また、店の正面には旬の野菜を漬けた期間限定品を出していて、今の時期は菜の花や春キャベツの漬物が春らしさを彩ります。

その他、珍しい漬物では、玉ネギを丸々1個使ったたまり漬け、エリンギのたまり漬け、グリーンが鮮やかでピリッと辛いザーサイの漬物、わさびの風味が後を引く長芋の漬物が目を引きます。

漬物は野菜を漬物液と香辛料に

伝統的な漬物を残しながらも、珍しい食材を使った研究開発に取り組んでいる大野店長



(写真:町田明夫)

(写真:町田明夫)

全国から仕入れたクオリティの高い漬物や味噌、調味料の種類多さに驚く

参考文献:『日本の食文化大系 つけ物編』小川敏男著(東京書房社)

漬けている間に発酵し、香りと風味がよいことから香の物とも呼ばれるようになった健康食品です。

(文 ■ 千葉 みな子)

十一屋総本店
新橋4-5-15
TEL 03-3459-8500

芝地区の新しいこと、新しい建物、新しいスポットを特集します。

ビルの屋上で『サツマイモの収穫』と『養蜂』 ～ヒートアイランド対策～



東京芸術大学の学生もミツバチの飼育を体験しました



セイヨウミツバチが集めたハチミツ



立派なサツマイモがたくさん採れました

【文】作田 宗子
【写真提供】NTT都市開発株式会社

サツマイモで屋上350m²を緑化
アーバンネット三田ビルで行われている屋上緑化は水耕栽培システムを設置するもので、防水工事を施して土を敷き詰めるものに比べて大規模な工事をする必要がなく、軽量だということです。またサツマイモは葉が多く、春に苗を植えると夏には葉が重なり合うように屋上の表面を覆い、ビル表面温度の上昇を抑えることがわかりました。

昨年8月の観測によると、サツマイモの葉で覆われた部分の表面温度は26度～28度と1日を通して安定していたのに比べ、そうでない部分は最高55度と高温に達したそうです。照り返しを受けてビルが吸収した熱は、日が落ちた後に大気へ放出されるため、熱帯夜の原因になります。打ち水や緑のカーテンなど様々な取り組みが行われていますが、屋上緑化はまだあまり普及していないのが現状です。

ミツバチの飼育
平成18年(2006)に始まった屋上緑化はゴーヤやブドウなど新たな植物も加わり、平成22年(2010)から養蜂も始まりました。蜂蜜の採取に適したセイヨウミツバチ2群から開始し、平成23年(2011)は日本の在来種であるニホンミツバチを1群飼育しました。

ミツバチは採蜜する際に植物の受粉をうながすので、実のなる植物や周辺環境の種の保存に大きな役割を果たしています。果実に虫が集まると、虫

を食べる鳥も集まり、結果として生態系を維持すると考えられています。また蜜が集まるだけの花があるかどうか、ミツバチは自然環境がどの程度とどのっているかを知るバロメーターにもなります。アーバンネット三田ビルの近くには三田台公園や竜塚公園があり、サクラやウメ、オオムラサキツツジ、サツキなど蜜源となる木々や植物が生息しています。周辺には寺院や学校もあり、街路樹などを合わせると意外に多く蜜源があることがわかります。

たのしい収穫祭
土の入った鉢にサツマイモのつるを入れたとその部分が膨らみ、3～4か月で収穫できるようになります。収穫にはテナントの社員も参加し、ビル内のレストランでケーキやスープなどに調理され、収穫パーティで蜂蜜とともにふるまわれました。平成22年はミツバチの巣箱2箱から約5.5kgの蜂蜜が採取され、時期によって色や味が違うものの、雑味のないスッキリとした甘さだそうです。収穫後のサツマイモの枯れ葉や茎は有機肥料として再生し、次の年の栽培に利用する予定です。冬の間は屋上の表面は何もない状態に戻り、ミツバチは越冬のための栄養補給をしながら春が来るのを待ちます。

災害時に大事な地域との交流
サツマイモの苗植え、つる入れ、収穫パーティなど年間を通して多彩なイベントが催されるように



5月頃(定植時) 7月頃 10月頃(収穫時)

みなと保健所が 新庁舎に移転しました

区民が利用しやすく、親しみやすい、質の良い保健所をめざして

2月6日、三田1丁目に新しいみなと保健所がオープンしました。これまで、生活衛生センター(六本木庁舎)、保健サービスセンター(赤坂坂倉・三田分室)と別々の場所で行っていたそれぞれの業務を、新保健所に統合し、連携して業務を行います。場所は都営大江戸線赤羽橋駅より徒歩5分。敷地面積約1,750m²、地上8階、地下1階の環境に配慮した建物。内装にフローリングや木のサッシを使用することにより、自然な雰囲気。東側・西側の壁面にはツタを育て、壁面緑化によって日射熱を緩和させる工夫がなされています。



みなと保健所新庁舎

建物は高い断熱性能と高气密性能を確保し、中央には太陽光によって暖められた空気の上昇気流を利用するソーラーチムニー(※)を導入。夏は暖められた空気を排気し、冬は暖気を循環させ、建物の熱負荷を軽減させます。地中熱を利用した設備や、屋上には太陽光発電パネルを設置し、自然エネルギーの有効活用を図ります。また、屋上植栽の雨水利用やヒートアイランド現象対策など、さまざまな環境対策に取り組んでいます。防災対策としては、震災時の停電を考慮し、非常用発電装置は72時間の稼働時間を確保しています。

メインエントランスのある1階には、障害者が就労する喫茶・軽食コーナー(カフェリーチエ)を設置。2階には子ども家庭支援センターのほか、栄養指導室や休日歯科応急診療所を配置。3階には成人・乳幼児健診に関する部屋が並び、4階には保健サービス関連の事務室が配置されています。5階は生活衛生関係を中心に、6階はレントゲン室や検診室、7階は化学細菌など各種検査室が置かれています。最上階の8階は講演会や講習会の開催など多目的な空間として利用できます。

子ども家庭支援センターは2月13日から業務を開始。喫茶・軽食コーナーは3月1日から営業を開始します。新しい保健所に、気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。区民の健やかな生活を支える身近な保健所として、利用しやすい施設となることを期待しています。



開所記念式典。武井雅昭区長が地域の方々とともにテープカットを行いました



室内には木材がふんだんに使用されており、あたたかい雰囲気

【文・写真】早川 由紀

※ソーラーチムニー：建物の中に煙突状の空気の通り道をつくり、太陽光によって暖められた空気の上昇気流を利用して、空気を循環させるシステム。

みなと保健所
三田1-4-10

生活衛生課(庶務係) TEL 03-6400-0041
生活衛生課(相談係) TEL 03-9400-0043
保健予防課(予防係) TEL 03-6400-0080
健康推進課(健康づくり係) TEL 03-6400-0083

*新庁舎では直通電話となります。主な電話番号を掲載しました。

続・新橋にトンネルがあるって本当ですか？

※この記事は本誌第16号2ページにて同タイトルで掲載された記事の続編です。

環状第二号線道路は東京中心部を環状に通り、神田佐久間町から湾岸道路に至るまで計画されています。そのうち虎ノ門の外堀通りから第一京浜交差点までの約1.35kmの道路は、平成25年度(2014年3月)の完成を目指しています。環状第二号線のこの区間(虎ノ門～新橋)の東京都施行の整備は、新しい立体道路制度を適用する都市再開発事業(平成26年度竣工予定)と、さらに虎ノ門の外堀通



写真① 虎ノ門1丁目トンネル出入口

りから桜田通りを横切り、虎ノ門街区内でトンネルに入り(写真①)、第一京浜手前新橋方面ランプ出入口がありますが、築地方面に通過していく地下部道路と愛宕通りから第一京浜まで地域活用のための地上部道路の上下二段を形成する道路事業となっています。この虎ノ門から新橋間の道路事業は、計画から64年余もかけ、地元コミュニティも参加し、また構想、規模においても世界の大都市の中心部でなされる類を見ない程の大事業でもあり、新橋、虎ノ門、いや東京都の将来も見据えて新しく出現する21世紀型の新道路、再開発事業でもあります。

東京都埋蔵文化財センターは、徳川第2代将軍 秀忠によって天下普請と云われる市街地整備のために日比谷入江を埋め立てて(※1)武家屋敷になつていたこの地区を調査し、その結果が「愛宕下遺跡1-1J」としてまとめられ、さらに「Ⅲ」が刊行される予定です(※2)。もともと

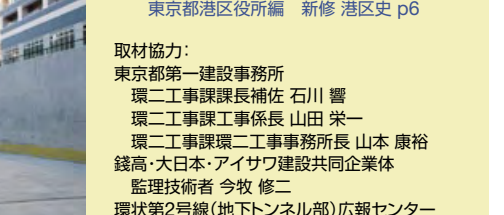
武家屋敷跡の下の地層は海であったことを示す貝殻などが出土しています。液状化を防止するためその軟弱な地盤を改良し、その上に鉄筋コンクリートのトンネル部分を築造しています。加えて、このトンネルは日比谷通りでは都営三田線と交差し、第一京浜では都営浅草線(写真②)と交差するために、いずれも地表から下の深度1.1m～7.5mにトンネル、その下に地下鉄と云う順番で建設されています。トンネルの幅員は場所により20m～38m位あり、緊急避難所のあるところは構内にふくらみ、さらに側面に消火設備の設置場所、及び点



写真② 都営浅草線表示



写真③ 消火設備用場所の工事



写真④ 新橋方面ランプ出入口

※1 鈴木 理生 江戸・東京の地理と地名 p7 日本実業出版社
※2 東京都再開発事務所 東京都第一建設事務所 環状第二号線新橋・虎ノ門地区 事業概要2011 p10
※3 鈴木 理生 前掲書 p4 東京都港区役所編 新修 港区史 p6

取材協力：東京都第一建設事務所 環二工事課課長補佐 石川 賢 環二工事課工事係長 山田 栄一 環二工事課環二工事事務所長 山本 康裕 鎌高・大日本・アイザワ建設共同企業体 監理技術者 今牧 修二 環状第二号線(地下トンネル部)広報センター 写真提供①③④：桑原 哲真 (文中敬称省略)

みなと子育て応援プラザ



みなと子育て応援プラザPokke(ぽっけ)は、平成20年(2008)10月にオープンした会員登録制(登録料は無料)の子育て支援施設です。登録した皆さんが利用できる「子育てひろば」や保護者の事情に応じて子どもを預かる「一時預かり」「トワイライトステイ」「ショートステイ」(いずれも有料)を行っています(詳しくはお問い合わせください)。

現在、Pokkeの登録者数はおよそ5,000人。50名弱のスタッフとともにPokkeを支えているのは、多くの利用者の皆さんだといいます。Pokkeでは日々様々なイベントが行われていますが、その中には、保護者が自分たちの経験を活かし、自ら講師となって、エアロビクス、フラワーアレンジメント、フラダンスなどの講座を開くこともあるそうです。企画のアイデアをもらうこともあるとか。Pokkeのイベントは保護者の声がかかっているんですね。

Pokkeでの大きなイベントである夏祭りやアニバーサリー(周年記念)では、利用者だけでなく、地域の人々の協力も欠かせないものとなっています。近隣地域へ地道に参加を呼びかけたところ、予想していた以上に賛同いただき、地元の人々、民生委員、近隣の施設や企業の参加が実現したそうです。

大学生たちもいつもお手伝いに来てくれて、

楽しい企画を考えてくれます。また階上の都営住宅の住民の方と会食することもあり、多世代交流の場にもなっています。Pokkeは地域とのつながりを大事にしながら、お母さんやお父さんと協力して、子どもたちの成長を見守っています。

みなと子育て応援プラザ Pokke(ぽっけ)
芝5-18-1-102
TEL 03-6435-0411

Pokkeで教えてもらったレシピ♪

Pokkeでは、毎週木・金曜日12時～13時30分、14時～15時30分にカフェを開いています。当初は飲み物だけでしたが、デザートも始めるようになり、今では限定15食のランチもやっています。これ以外にも、ケーキカフェ、パバカフェ(コーヒー好きのお父さんがコーヒーをいれてくれます)なども開いています。

今回はこのカフェのスタッフから、味、食感、香りが楽しめるじゃがいもパンケーキの作り方を教えてもらいました。とても簡単なので、お子さんと一緒に作ることもできます。飲み物を添えておやつに、砂糖を少なめにしてお朝のパン代わりに…様々なアレンジが楽しめます。

じゃがいもパンケーキ



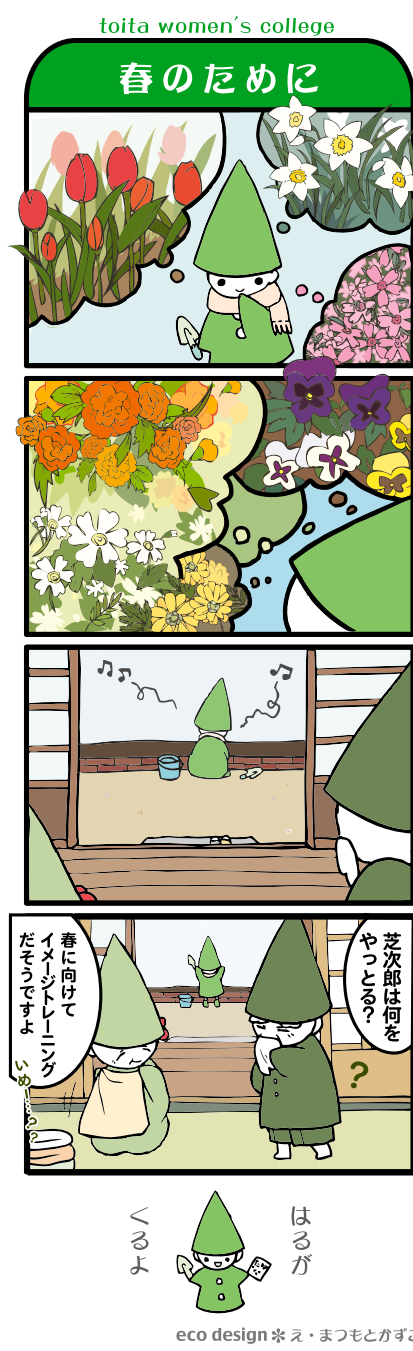
【材料】
(直径約10cm 10枚分)

じゃがいも……………200g(正味)
「小麦粉……………200g
A ベーキングパウダー…小さじ1
「砂糖……………60g
豆乳……………150ml
サラダ油……………適量

【作り方】

- 1 Aをすべてボウルに入れ、泡立て器でよく混ぜ合わせる。
- 2 ①に皮をむいてすりおろしたじゃがいもと豆乳を加え、ダマがなくなるまで混ぜ合わせる。
- 3 フライパンにサラダ油を熱し、両面をそれぞれ1分くらい焼いてできあがり。

・ホイップクリームやメイプルシロップをかけてもおいしいです。
・小麦アレルギーのお子さんには小麦粉を米粉に、大豆アレルギーのお子さんには豆乳を水に替えてもできます!



eco design 水元・まつもと方子

めぐる季節に、江戸の趣を感じて

しゅうしきあん おおさかや
～秋色庵 大坂家～



慶應義塾大学三田キャンパス正門のはす向かいにある、老舗の和菓子屋、秋色庵 大坂家さん。創業は、江戸の元禄年間、およそ300年前になります。店内には、着物姿の美しい女性の「錦絵」が飾られています。大坂家さんの御祖先にあたる「お秋」さんの錦絵です。秋色と書いて「しゅうしき」と読むのは、「お秋」さんが当時名乗っていた俳号「秋色女」や「菊后亭秋色」を由来としているからです。時は元禄の頃、俳諧を学ばれていたお秋さんがわずか13歳で詠んだ句が、公寛法親王のお気に召され、一躍時の人となりました。

『井戸端の 桜あぶなし 酒の酔』

店内の季節感あふれる和菓子に囲まれながらお話をしてくださったのは、生まれも育ちも芝、三田っ子の大坂家のご主人、倉本 勝敏さん。これからの季節行事である、お雛様のお話

では、色とりどりのひなあられの中に、大豆や黒豆が交ざっているのは、「女の子は、まめに育てて欲しい」という思いが込められているからだそうです。

和菓子作りの作業場では、職人さんが手間隙をかけて、「栗鹿の子」が作られていました。ひとつひとつ丁寧に、餡の上に栗が飾られた仕上がりは、とても愛らしくもありました。

上生菓子の「練りきり」を作るための木型は、昔ながらの道具であり、堅くて丈夫な桜の木が適しているそうです。木型には、花や野菜などの模様かきめ細かく彫られており、和菓子づくりの繊細な世界が感じられました。

江戸文化のひとつである和菓子は、四季折々を楽しむ心や人の温もりを、今もお伝え続けています。

〔文・写真 ■ 桑原 庸嘉子〕



Info 秋色庵 大坂家
三田3-1-9
TEL 03-3451-7465

青山二郎(1901~1979)の親交録

「港区ゆかりの人々」140人の内にも挙がっている新広尾町1丁目(※)生まれの古陶磁研究家、装幀家、美術評論家。麻布中学の学生であった14歳頃から古陶磁に興味を持ち、18歳の時 兄民吉が在籍する帝大美学科の奥田誠一主宰「陶磁器研究会」に実業家で美術蒐集家の横河民輔と同居した。20歳頃中川一政に絵の手ほどきを受けて、23歳の時に柳宗悦、その甥である石丸重治、浜田庄司(陶芸家)、小林秀雄らを知る。25歳で「日本民芸美術館」の設立準備に関与、野村八重と結婚。河井寛次郎を知る。26歳の時、後に東京国立博物館に寄贈された横河民輔の中国古陶磁器コレクション(それらは当時の美術商山中商会や繭山龍泉堂などの仲介で収集された)1万点の中から、2千点を選定(内2点が国宝に指定)して図録を作成する仕事を委託された。「始めは鑑賞家の度胸だけで引き受けた図録は、東京中の蒐集家を見て歩き、同時に写真を撮って分類する仕事で、4年かかったが、沢山にも見たのは格別な事だった。」と言う。妻八重肺結核で死去。28歳で倉橋藤次郎の陶磁器光立ての世話と「朝鮮工芸概観」と題した講演、29歳の時には三越で「宋窯展」を開催。河上徹太郎、永井龍男を知る。武原はんと結婚、一之橋に住む。この頃から小林、永井、河上を中心に、三好達治、中島健蔵、今日出海、大岡昇平、嘉村磯多、牧野信一文学仲間が集まり「青山学院」と称される。30歳からは今までの蓄積が一斉に噴き出したような活動ぶりで、平凡社の「世界美術全集」陶磁編に総説「朝鮮磁器に就いて」と図版解説



〔別冊 太陽 日本のこころ 87〕1994 平凡社

を書いたり、装幀家として、直木三十五の「南国太平記」を装幀する(後に代表作となり何度も映画化された)。これ以後二郎の装幀は生涯で2000点に及ぶ。中原中也を知る。

生まれてからずっと新広尾町に住んだが、その後交渉のあった人々は、昭和8年(1933)から昭和17年(1942)の約10年、四ツ谷花園アパート時代には、野々上慶一、萩原朔太郎、高村光太郎、中村光夫、吉田健一、坂口安吾、檀一雄、太宰治、宇野千代、長谷川泰子、深沢七郎、金子光晴、草野心平、辰野隆、三宅鮎子の人々。伊東の疎開時代の昭和24年(1949)までの7年間は、中山義秀、島木健作、佐佐木茂索、真船豊、白洲正子などの面々。昭和26年(1951)に三之橋に戻って昭和39年(1964)までの13年間は、勅使河原蒼風、岡本太郎、棟方志功、北小路魯山人、加藤唐九郎などの人々。

昭和39年の東京オリンピックがきっかけで神宮前のヴライ・ピアノで最後の15年間を過ごした。死後平凡社「別冊 太陽」で「青山二郎の眼」をテーマに特集され(写真)、世田谷美術館では「青山二郎展」が開かれた。青山二郎の人となり

は、何とはなしに人を惹きつける育ちの良さから醸し出される人のよさ、いつも人が気づかない何か良いものを嗅ぎ分けて探し出す好みの良さとそれを手に入れる物怖じしない大胆さ、あるいは、論理性をこえる鑑識眼と独創的な商才と集中力でも言ったら良いのだろうか。曾祖母姉妹、母さんの溺愛、父八郎衛門の商才も必要だったが、二郎が愛した人達と二郎を愛してくれた人々がいて、三田を流れる古川が、このような人生を二郎に与えたとも言える。

青山二郎は著書でこう語っている。

「利休のことを考へて、利休といふ人物の内容を煎じ詰めて行きますと、世間で謂ふ彼が大成した茶道とか、後世に遺した名器などは一彼頭の中に深く隠れてゐたものの、何かの手がかりに過ぎなかつた様な気がします。名器の人気は当時絶対なものでありましたから、周囲の鑑賞家は残らずそれに心を奪はれてゐました。良い茶器を手に入れば行き届いたお茶がたてられて、進歩の跡が現はれたからであります。それに対して「発見」が茶の師であつたとさへ思へる利休にこれらの騒ぎが何う映つたのでありませう。」

〔梅原龍三郎〕1号 昭和21.12 創元より

※新広尾町1丁目は一之橋から三之橋までの古川沿いの地域で、現在の芝地区と麻布地区にまたがる旧町名です。

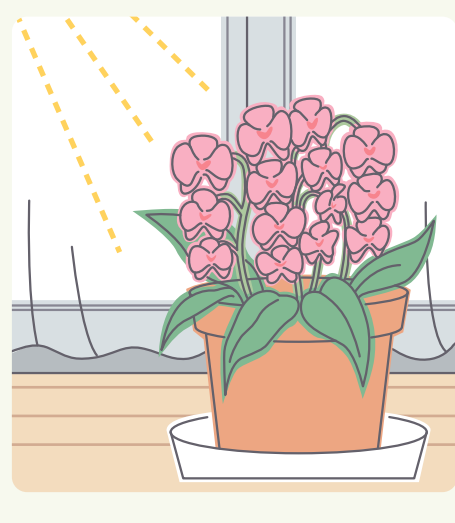
●参考文献:『青山二郎全集 上・下』ちくま学芸文庫 別冊 太陽 日本のこころ 87) 1994 平凡社

芝次郎の園芸講座

こちょうらん 胡蝶蘭 開花中の手入れ

贈り物として人気のある胡蝶蘭。1年中花屋で目にすることができますが、本来は今の時期に開花します。きちんと管理すれば、2、3か月花を楽しむことができます。

ポイントをおさえて、できるだけ長く胡蝶蘭を楽しみましょう。



- 開花中の管理のポイント
- 1 暖房の風などが直接当たらないところに置きます。
 - 2 室内でレースのカーテン越しに日光に当てるようにします。
 - 3 水やりは控え、水ゴケが乾いたら軽く湿る程度に霧吹きなどを使って与えます。受け皿に水がたまつた場合は捨ててください。
 - 4 開花中は肥料を与える必要はありません。



Info 旧町名由来板

芝地区には、大正10年(1921)発行の「東京市芝区図」(東京通信局発行)を参照すると、当時74の町名がありました。その後、住居表示実施等による町名変更があり、現在使われている町名になりました。74の旧町名のうち、現在62の町名の由来を17の旧町名由来板で紹介しています。

今回は、「虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)」(芝地区MAP 2)に設置されている旧町名由来板から、5つの旧町名を紹介します。

【葵町】

明治5年(1872)、武家地が合併して溜池葵町となり、明治44年(1911)、冠称の溜池を廃止して、葵町と改称されました。町名は葵坂があつたことに由来します。溜池の南端は堀になっていたので、池の水が濁りとなって流れ落ちており、この濁りかへる坂が葵坂で、坂上の辻番所には蜀葵が多く植えられていたと伝えられています。名高い坂でしたが、道路改正により現在はほとんど平らで、坂という名を残すだけとなっています。

【今入町】

もとはは根田久保町及び根田太左衛門町があつた地域でしたが、寛政6年(1794)の火災で類焼した後は火除け地となりました。文政年間(1818~1830)に日比谷門外の江戸幕府の御用屋敷がこの地に移されましたが、明治2年(1869)に廃止され、麻布今井町、入寺町、赤坂氷川町の住居の一部がこのに移されて、明治3年(1870)、今井と入寺の2町名の字をとって今入町となりました。

【琴平町】

もとは丸龜藩京極佐渡守、人吉藩相良志摩守、日出藩木下飛騨守、遠山美濃守、谷主計の屋敷でしたが、明治5年にこれらを合併して琴平町になりました。琴平の名は、京極家邸内に金刀比羅大権現があつたことに由来します。明治初年(1868)、藩邸は上地となりましたが、金刀比羅大権現は金刀比羅宮として残され、多くの参詣客でにぎわいました。

【西久保明舟町】

もとは武家屋敷でしたが、明治初年、明石町、船松町2丁目、芝車町、伊皿子七軒町、三田功運寺門前、三田台町1丁目の6つの町の代地となりました。翌年の明治2年にこれらを合併し、明石、船松の町名より1字をとって明舟町と名づけられました。明治5年にはさらに付近の旧武家地を合併しています。

【西久保桜川町】

明治5年、水口藩加藤氏、松本藩戸田氏、松代藩真田氏、菊間藩水野氏及び諸幕士の屋敷を合併して、西久保桜川町になりました。町名は町内を流れていた名高い坂でしたが、道路改正により現在はほとんど平らで、坂という名を残すだけとなっています。

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご利用ください。

- 1 網町三井倶楽部 1P
- 2 フォトサービス・マツナガ 1P
- 3 十一屋総本店 2P
- 4 ハンガリー共和国大使館 23P
- 5 ポツワナ共和国大使館 6P
- 6 アーバンネット三田ビル 4P
- 7 みなと保健所 4P
- 8 みなと子育て応援プラザPakke 5P
- 9 戸板女子短期大学 5P
- 10 秋色庵 大坂家 6P
- 11 芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」 7P
- 12 本芝公園 8P
- 13 みなと幼稚園 8P
- 14 芝公園児童館 8P
- 15 三田いきいきプラザ 8P
- 16 港勤労福祉会館 8P
- 17 愛宕警察署 8P

桜川はその後、少しずつ埋め立てられ、流域も変わり、下水溝となって大正時代まで存在していました。

今回紹介した旧町名由来板が設置されている

Info 虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア) 虎ノ門1-21-10

「芝の家」から...

このコーナーでは、これまで3年に渡って「芝の家日記」という形で、日常の出来事やご近所付き合いの様子をお伝えしてきましたが、これからは「芝の家」の取り組みやイベント情報を紹介していきます。

芝の家では、「3人寄れば、地域がうごく?」をテーマにプロジェクト発表会を開催します。芝の家のプロジェクトは、誰かリーダーが予め目標を定め、そのために人を集めて行動していくものではなく、日常の出会いの中から自然と生まれた活動ばかりです。テーマに「3人」と入れたのは、どの活動も始まりはいつも(およそ)3人だからです。3人というのは、1人きりで奔走

しているときも、2人だけが意気投合しているときも違う、確かなやりがいを感じられます。また、3人いるということは、活動内容の豊かさにもつながります。たとえば気の合う学生同士2人で何かを始めることは簡単ですが、3人目となる世代の異なる人や、地域で暮らす人、近隣で活動する町会や老人会組織、NPOや大学の専門家など、様々な人たちが加わることで、力を出し合い、活動をより豊かなものへと発展させていくことができると思います。

今回の発表会では、すでに始まっているプロジェクトだけでなく、3人目の登場を待っているプロジェクトの卵たちも紹介できればと思います。

Info 芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」 芝3-26-10 TEL 03-3453-0474

●月・火・木 11時~16時開室
●水・金・土 13時~18時開室
●ウェブサイト <http://www.shibanoe.net/>

花の植え付けの様子(コミュニティ菜園プロジェクト)

芝の家の縁側から発信(ミニFM 芝5chRadio)

芝の家プロジェクト発表会

~3人寄れば、地域がうごく?~

日時 平成24年3月11日(日) 13:00~19:00 開場12:00
場所 芝コミュニティはうす(港区芝5-13-15 芝三田森ビル2F)
※会場は芝の家ではありません。ご注意ください。

参加費 無料 定員 50名(要申し込み。申し込みは芝の家まで)

プログラム (基調講演) いのちの約束 ~みんなみんな紅色の種~ (グロッセ世津子)
(プロジェクト発表) コミュニティ菜園プロジェクトほか【写真参照】
(ディスカッション) これからのソーシャル・キャピタル「地域の綱目」のつむぎ方(平野幸子/久田邦明/杉山光敬/坂倉杏介) (敬称省略)

主催 芝の家 共催 芝地区総合支所、慶應義塾大学教養研究センター

本芝フェスタ2011 ～WE LOVE 東北～

昨年11月12日、本芝町会がJR田町駅前の本芝公園で「本芝フェスタ2011 ～WE LOVE 東北～」を開催しました。今回は、東日本大震災で被災した福島県いわき市の四倉地区の子どもたちを招待しました。青空の下、子どもたちは芝小学校シンフォニックプラスや東京女子学園吹奏楽部の演奏で歓迎を受けました。

その後、出店で焼きそばやおでんなどを食べ、ゲームを楽しみながら子どもたち同士も交流することができました。翌日も町会の人たちと一緒に東京タワーやNHKなどを見学。子どもたちはリフレッシュして福島に帰っていきました。



いわき市四倉の子どもたち45名。大漁旗をモチーフにしたおそろいの青いリボンが素敵でした
(写真提供：福島県いわき市四倉支所)

よいこのつどい

1月9日成人の日に、芝西会主催・芝西応寺町会後援による「よいこのつどい」がみなと幼稚園前で開催されました。この行事は25年以上続いていて、成人の日の風物詩として、地域に愛されてきたものです。子どもたちは、大人からけん玉や羽根つき、ペーゴマなど昔の遊びを教してもらい、世代を超えたふれあいの中で、楽しい時間を過ごしました。

また大人たちが見守る中、小刀を使って竹とんぼや大根てっぽう作りに挑戦する子どももいました。みんなでついたお餅も好評でした。



竹とんぼや大根てっぽう作りは毎年大人気。おじいちゃん世代の腕は今も愛されています。子どもたちも「面白かった」と目を輝かせました。

福島県浪江町の陶芸家・山田さんと植木鉢作り!



受講者に指導する山田さん(三田いきいきプラザにて)

芝地区にある保育園・児童館・いきいきプラザ等、障害保健福祉センターで、陶芸教室を行いました。講師は、東日本大震災で被災し、東京に避難、現在芝公園児童館で「東日本大震災避難者・被災者臨時職員」として働いている福島県浪江町大堀の陶芸家・山田茂勇さん。山田さんは大堀相馬焼の窯元で、被災されるまで浪江町で多くの作品を創っていました。

今回は、芝地区の人たちが山田さんと一緒に素焼きの植木鉢作りに挑戦しました。粘土をまるい板状にのばし、それを型にかぶせ植木鉢の形にします。鉢のまわりに印花(花・鳥などのスタンプ)で模様をつけて、作業終了。山田さんが子どもから高齢者まで簡単に作れるよう、作り方をアレンジしてくれました。

このあと10日程乾かし、窯で7～8時間焼き上げます。完成した植木鉢は土と球根を入れて、持ち帰る予定です。手作りの植木鉢にきれいな花が咲く日が楽しみです。

大堀相馬焼。この作品は二重焼といわれ、2重構造になっています。そのため熱いお茶をいれても外に熱が伝わりにくく、保温性もあります



芝落語会

35周年を迎えた芝落語会

芝落語会は、昭和51年地域落語会として芝の勤労福祉会館で旗揚げされてから、昨年で35周年を迎えました。

江戸時代にスポットをあてて「粋」「しゃれ」といった江戸っ子の心意気を愛し、あくまで素人の目線で落語を愉しみながら、地域の繋がりを深めることが最大の目的です。懇親会では、落語家さんや地域の方々との語り合う喜びがあり、歴代の師匠方の素顔・芸談を聴けるといって醍醐味もあります。

芝地区には明治後期、十六席もの寄席があり、芝を舞台とする落語も『芝浜』『首提灯』『井戸の茶碗』な

ど数多く知られています。そんな落語の宝庫である芝で活動を続けてきた芝落語会の会長 西田高光さんから、35年を振り返って、思い出話をいくつか聞かれました。

昭和52年の芝の落語名所めぐり

当時二つ目であった春風亭小朝さんと一緒に浴衣で芝界隈をめぐり、最後に愛宕山の茶店で「品川心中」を聴かせていただきました。この「落語名所めぐり」は毎年恒例となり、参加者も増えています。



西田会長(「落語名所めぐり」にて)

昭和53年の新春特選落語会

芝浦協働会館にて三遊亭圓生・古今亭志ん朝・立川談志・三遊亭圓楽の師匠方を人力車でお迎え。客席の会

員はなんと全員和服姿でした。その粋としゃれに圓楽さんが、「今日の客は雰囲気が違うよ」と言われたそうです。

平成7年の長講「怪談牡丹燈籠」

三遊亭圓朝が眠る谷中の全生庵にて、三遊亭鳳楽さんの、寄席では聴けないような長時間(2時間余)の斬を愉しみました。

このほか、「歌舞伎と落語のあい」「長唄と落語のあい」「雅楽と落語のあい」など、さまざまな伝統芸能とのコラボレーションを試み、今後も能・狂言等との「であいシリーズ」を考えているそうです。これからも地域落語会として年6回の催しで活動を続けていく芝落語会。皆さんも落語を聴いて江戸の町に思いをはせてみませんか。



●芝落語会の問い合わせ先 TEL 080-1331-1705 (西田)

芝地区まちづくり組織の活動

ホームページを開設しました。「環状2号線芝地区 環境・まちづくり協議会」の紹介や活動内容を掲載しています。また、「まちづくりニュース」もダウンロードできます。ぜひご覧ください。

<http://k2machikyo.com/>

芝地区地域情報誌・編集委員を募集しています!



芝地区の話題を掘り出し、取材していただく地域情報誌・編集委員(記者)を募集します

- 【対象】芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
- 【内容】地域の話題の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年間4回発行予定)。発行予定ごとに平日の昼夜間に2時間程度の取材と、平日夜間に1回程度編集会議への参加があります。
- 【申し込み】氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送でお申し込みください。
- 【その他】報酬等の支払いはありません。

★本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
天津由理香/伊藤泰子/菊池弓可/清田和美/桑原庸嘉子/小知和千佳子/白田宗子/佐藤剛志/柴崎郁子/柴崎賢一/千葉みな子/張簡光輝/早川由紀/日尾佳世/町田明夫/森明

★今後の発行スケジュールは次の通りです。
H24.5.20発行(第23号)、H24.8.20発行(第24号)、H24.11.20発行(第25号)、H25.2.20発行(第26号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設にて配布しています。

平成24年度 港区民交通傷害保険に加入しましょう

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、交通事故でケガをしたときに、入院や通院治療日数と通院治療期間に応じて保険金をお支払いする保険制度です。

また、港区民交通傷害保険に、「自転車賠償責任プラン」を併せたコースも募集します。自転車を運転中に相手にケガをさせてしまった場合等が対象となります。概要のご案内となりますので、詳しくは各総合支所で配布するパンフレットまたは区のホームページをご覧ください。

※自転車賠償責任プランのみで加入することはできません。

加入対象者

平成24年4月1日午前0時時点で港区に住所がある人

保険期間

平成24年4月1日午前0時から平成25年3月31日午後12時までの1年間

加入方法

◎個人で加入される場合

各総合支所協働推進課協働推進係または区内金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に記入のうえ、保険料を添えてお申し込みください。

◎10人以上の団体で加入される場合

各総合支所協働推進課協働推進係で、団体加入申込書に記入のうえ、人数分の保険料を添えてお申し込みください。

加入申込期間

2月1日(水)～3月30日(金)

※金融機関での申し込みは3月23日(金)までです。

※申込期間外の加入はできませんのでご注意ください。

コースの種類と保険料

図の6つのコースから1つのコースを選んでご加入ください。

※複数のコースへの加入はできません。

表 コースの種類と保険料

コース	補償内容	年額保険料	最高保険金額
A	区民交通傷害Aコース	800円	150万円
B	区民交通傷害Bコース	1,400円	350万円
C	区民交通傷害Cコース	2,600円	600万円
AJ	区民交通傷害Aコース+自転車賠償責任プラン	1,100円	150万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
BJ	区民交通傷害Bコース+自転車賠償責任プラン	1,700円	350万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
CJ	区民交通傷害Cコース+自転車賠償責任プラン	2,900円	600万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)

幹事引受保険会社

(株)損害保険ジャパン東京公務開発部営業開発課
新宿区西新宿1-26-1 TEL 03-3349-6018

問い合わせ先

芝地区総合支所協働推進課協働推進係 TEL 03-3578-3121

(SJ11-08990 平成23年12月19日作成)

「みなとコール」は暮らしの疑問にお答えします!



区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。

年中無休/午前7時～午後11時

コヨウ(は)ナーニ ミナト(コール)です

TEL 03-5472-3710

FAX 03-5777-8752

Eメール: info@minato.call-center.jp

英語での対応もいたします。

振り込め詐欺撲滅運動推進中

ウチの電話は、直ちに110番!

携帯電話が変わった。

のどの調子が悪い。

株で失敗した。



これらは「振り込め詐欺」の騙し言葉のキーワードです。街とともに。人とともに。落ち着いて、よく考えて。すぐに110番!!

愛宕・三田警察署